

音戸ドリームアイランドカレッジフィールド

NPO法人アースキューブジャパン＋広島大学張慶在講師

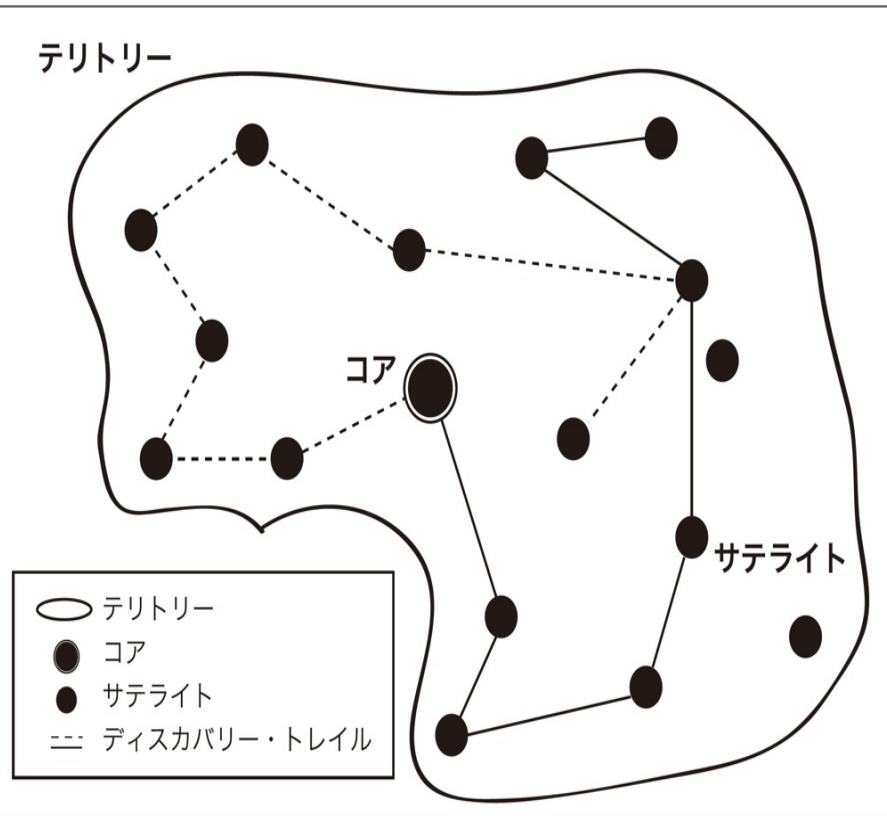
- 活動の背景・問題：島まるごとユニバーシティをやっていたが、人材育成の効果がある一方、地域の観光資源の発掘・発信には至らなかった。
- 活動の計画：地域の魅力を線・面にして発信する「エコミュージアム」概念を導入、島まるごと博物館（ブランド）と名付ける。
- 成果：3つのトレイルコースを製作し、モニタツアーを実施した。新たな観光資源の発信として有効であることが明らかになった。この試みはコロナ時代のマイクロツーリズムとしても機能できると期待される。

持続可能な音戸づくりモデル



音戸「島まるごと博物館」

(エコミュージアム)



● 地域全体を屋根のない博物館として捉える

● 訪問者（観光者）がコアで情報を得て、サテライトを回る

（ディスカバリー・トレイル）

● 地域の新しい魅力を発見でき、かつ長時間滞在が可能になる

エコミュージアムの概念
(村上、2017より)

音戸 「島まるごと博物館」



2019・2020年度の活動

- コンセプト整備：「音戸ドリームカレッジフィールド」 → 「島まるごと博物館」
- 現地調査・打ち合わせ：8回
- 音戸トレイル案提示：音戸の瀬戸周辺（引地、鰯浜、北隠渡、南隠渡）、高須、波多見
- モニタツアー：2回（2021年2月13日～14日）
- 現地発表会：2回



報告書の発刊 (2019、2020)

2019 年度

広島大学「地域の元気応援プロジェクト」

音戸ドリームアイランドカレッジフィールド
報告書

広島大学総合科学部国際共創学科
NPO 法人アースキューブジャパン
島まるごとユニバーシティ協議会

2020 年度広島大学「地域の元気応援プロジェクト」

音戸ドリームアイランド
カレッジフィールド報告書

広島大学総合科学部国際共創学科
NPO 法人アースキューブジャパン
島まるごとユニバーシティ協議会

地域の元気応援プロジェクトに参加してよかったところ

- 大学と地域の長期の関わりのための入り口
- 教育効果：国際共創学科の専門科目授業の一環としてフィールド調査を行う（2020）。地域の方々（法専寺・榎酒造・島本さん）のご協力を頂いた高い教育効果が得られた。
- 研究成果：エコミュージアム概念の有効性を明らかにする。コロナ時代のマイクロツーリズムとしても機能できる。

今後の展開

- 1 : **音戸高校の活性化** : 音戸高校 × JTB広島 × 広島大学（国際共創学科）で、観光をテーマにする地域活性化を考える。元気応援プロジェクトの成果を活かす。第一弾として、広島県の異文化理解促進プログラムを活用し、教員（張）と留学生による高校訪問・講義・交流会を6月～9月にかけて実施する。
- 2 : **元気応援プロジェクトの成果の応用** : 成果を活かし、さらに範囲を広げる。既存地域のモニタツアーも実施する。
- 3 : **地域の問題解決** : 国際共創学科生の卒業研究として、釣り客のマナー改善・漁業組合との交流・共生を考える（土井市会議員の協力を頂いて、本年5月に漁業組合長のインタビューを実施した）。